

第4期みやぎ観光戦略プランの令和3年度の実施状況について【概要版】～みやぎ観光創造県民条例第12条に基づく報告～

①計画の位置づけ

■「みやぎ観光創造県民条例」に定める観光振興に関する基本計画 ■「新・宮城の将来ビジョン」の分野別計画

②計画期間

平成30年度から令和4年9月まで

③計画の基本理念

観光の再生から未来につなぐ新たなステージへ

④令和3年度事業の実施状況

【事業数】213事業（再掲・道路関係・戦略5除く：82事業） 【事業費（再掲・道路関係・戦略5除く）】1,981,275千円（総事業費154,101,595千円）

⑤5つの観光戦略プロジェクトの具体的な取組（令和3年度実施事業）

※担当課室は組織改編後（令和4年度）の所属を記載

戦略プロジェクト1

東北が一体となった広域観光の充実と誘客プロモーション【33事業・662,608千円】

- (1) 東北の広域観光周遊ルートの確立と観光資源の磨き上げ
- (2) 東北の魅力を伝える一体的な誘客プロモーション
- (3) 仙台空港等の活用や二次交通の充実による東北の周遊促進

▼東北観光推進機構等と連携した広域観光の取組強化（観光政策課・観光プロモーション推進室・18,500千円）
東北各県及び新潟県内の観光需要の早期回復を目的に、関係団体と連携したプロモーション等を実施した。
（東北デスティネーションキャンペーン、外国人観光客の誘客活動の実施）

▼教育旅行誘致促進事業（観光政策課・50,858千円）
教育旅行希望者の相談や受入調整等のマッチング支援等を行った。
（マッチング支援：84件・延べ3,250人、教育旅行バス助成事業：110件・1,974万円交付）

▼東北連携による外国人観光客誘致促進事業（観光プロモーション推進室・34,205千円）
広域的な連携による東北一体となった観光プロモーション等を実施した。
（事業者向けプロモーション：在日旅行会社招請23社、教育旅行関係者招請48人、消費者向けプロモーション：タイ向けオンラインイベント開催：約19万ビュー、インフルエンサー招請7人）



教育旅行誘致促進（モニターツアー）

戦略プロジェクト3

外国人観光客の誘客加速化【26事業・475,873千円】

- (1) 東アジア市場を中心とした誘客プロモーション
- (2) 風評払拭のための正確かつ戦略的な情報発信等
- (3) 訪日外国人受入環境整備の推進

▼みやぎ観光デジタルマーケティング推進事業（観光プロモーション推進室・66,379千円）
コロナ後の旅行需要を踏まえたWEBサイトの改善等を行うとともに、デジタルの特性を生かしたプロモーションを実施した。
（広告等：約37万ビュー）

▼外国人観光客誘致促進事業（観光プロモーション推進室・18,034千円）
仙台市との共同による旅行博へのブース出展や現地サポートデスクによる商談会への参加等を行った。
（大台南国国際旅行博へのブース出展（R3.11.12～11.15）、公式SNS平均投稿数：134本）

▼他県連携等による外国人観光客誘致促進事業（観光プロモーション推進室・13,399千円）
県内飲食店の外国語対応支援として、勉強会や個別コンサルティング等を行った。
（勉強会開催数：10回、個別コンサルティング：31事業者、情報発信：約1.3万リーチ）



旅行博へのブース出展

戦略プロジェクト5

感染症により落ち込んだ観光需要の回復と持続可能な観光地づくり【92事業・149,046,272千円（うちコロナ対応経営安定資金・協力金等142,349,682千円）】

- (1) 安全・安心の機運醸成と可視化による選ばれる観光地づくり
- (2) 回復フェーズに応じた取組推進と観光資源の魅力の再発見
- (3) ニューノーマルに適応したビジネスモデル転換と新たな観光の創出

▼宿泊・観光需要創出事業（観光プロモーション推進室・1,908,258千円）
落ち込んだ観光需要を喚起するため、旅行商品の割引補助等を行った。
（みやぎ宿泊割キャンペーン「買って応援！宿泊前売券プラン」：約9.7万人泊、みやぎ宿泊割キャンペーン「泊まって応援！宿泊割引&クーポン付プラン」：約40万人泊（R4.3末時点））

▼安心な観光地づくり推進事業（観光政策課・10,664千円）
ステッカー等により安全・安心の取組について可視化するとともに、宿泊施設での感染症対策の取組を推進することを目的として、研修会を開催した。（県内宿泊・観光施設51件）



戦略プロジェクト2

観光産業の連携強化と成長促進【47事業・1,405,897千円】

- (1) DMO等の形成による魅力ある観光地域づくり
- (2) 観光産業の成長に向けた基盤強化

▼フィルムコミッション推進事業（観光政策課・2,044千円）
映画、テレビ番組、コマーシャル等のロケーション撮影に関する誘致の取組を支援した。
（せんだい・宮城フィルムコミッションにおける支援件数：141件、撮影実績：32件）

▼みやぎ観光戦略受入環境基盤整備事業（観光政策課・241,805千円）
観光客の安全に配慮した自然公園施設の整備や老朽化施設の再整備を行った。
（蔵王、鬼首地獄谷、金華山等の登山、遊歩道の整備等）

▼宮城ワーケーション推進プロジェクト（観光政策課・19,464千円）
宮城ならではのワーケーションプログラムの造成や県内企業向けセミナー等を行った。
（プログラム造成：6本、セミナー・交流イベント：3回）



ロケーション撮影風景（白石城）



ワーケーションプログラム

戦略プロジェクト4

沿岸部にぎわい創出【15事業・2,510,945千円】

- (1) 魅力ある観光資源の磨き上げと正確な情報発信
- (2) 観光施設等の再建と受入態勢整備強化

▼観光誘客推進事業（観光プロモーション推進室・68,583千円）
ポケモンのキャラクター「ラプラス」とのコラボやNHK連続テレビ小説「おかえりモネ」、アニメ「バクテン!!」と連携し、様々な媒体による通年の観光キャンペーンを行った。
（下期観光ガイドブック：17.5万部、スタンプラリー参加者：6,604人）

▼地域周遊型誘客促進事業（観光プロモーション推進室・60,899千円）
域内周遊の促進を図るために、スタンプラリーの実施や、バスツアー造成・運行経費の一部を助成した。
（バスツアー造成補助：8者、バスツアー運行経費補助：13本）

▼沿岸部交流人口拡大モデル施設整備事業（観光政策課・150,000千円）
沿岸部における集客力のある観光集客施設の設置に要する経費の一部を助成した。
（事業完了：モデル観光集客施設設置型 1件）



ポケモンキャラクター



沿岸部交流人口拡大モデル施設整備事業（仙台市：JRフルーツパーク仙台あらはま）



ビジネスモデル転換事業（グランピング施設整備）

⑥数値目標に対する進捗状況

目標指標	基準値 (平成28年)	実績値 (令和元年)	実績値 (令和2年)	速報値 (令和3年)	目標値 (令和4年)
1 観光客入込数	6,084万人	6,796万人	3,945万人	4,499万人	7,000万人
2 沿岸部（石巻・気仙沼地域）の観光客入込数	552万人	921万人	561万人	640万人	805万人
3 宿泊観光客数	922万人泊	989万人泊	587万人泊	584万人泊	1,000万人泊
4 沿岸部（石巻・気仙沼地域）の宿泊観光客数	67万人泊	80万人泊	53万人泊	56万人泊	75万人泊
5 外国人観光客宿泊者数	17.5万人泊	53.4万人泊	12.2万人泊	3.7万人泊	50万人泊
6 観光消費額（観光庁共通基準による観光客入込統計）	3,044億円	3,989億円	2,498億円	2,624億円	4,000億円

※令和4年の目標値は、改定前のプラン最終年（令和3年）の目標値と同値に再設定し、感染症拡大以前の水準の早期回復を目指すこととした

⑦本計画の実施状況の検証

- 震災復興11年目となった令和3年度は、「新・宮城の将来ビジョン」の初年度に当たり、ビジョンで掲げた取組の一つである「宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興」を推進するため、213事業を積極的に展開した。
- 昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の感染拡大に伴い、緊急事態宣言等の発令や昨年11月に外国人の新規入国が一時停止される等、観光を取り巻く状況が好転しなかったが、宿泊割キャンペーン等各種需要喚起策により、県内旅行が下支えしたため、前年を上回ったものの、令和元年水準の約7割程度にとどまっている。
- 具体的な取組としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等による事業者支援を始め、県民割の実施や域内周遊を促すためのバスツアー造成等の需要喚起策を行い、早期の観光需要の回復に取り組むと共に、観光地における受入態勢整備を図った。
- また、感染状況を踏まえながら、教育旅行の積極的誘致、テレビ・アニメ等と連携した情報発信やオルシの各コースで行うイベント開催等により、「みやぎの観光」の魅力発信に努めた。
- 引き続き、感染症により落ち込んだ観光産業を回復させるため、感染拡大防止対策を徹底しながら、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えたインバウンド等の受入環境整備や誘客プロモーション等を着実に推進していく。